



虎は千里を往って 千里をかえる

校長 輿水秀志

「新年明けましておめでとう」ございますというあいさつとともに平成22年がスタートしました。「おめでとう」とは長い冬が過ぎて新しい芽が出ることから生まれた言葉です。春に吹き出す新緑や花のつぼみは、冬芽という栄養分に富んだ状態で冬の間を過しています。この状態は、各自の新しい目標達成のためにひたむきに頑張り、力を蓄えている今の巨摩高校生の状態と同じだと思います。

昨年12月の校納式では、国体や新人大会、芸術文化祭等で活躍した多くの運動部や文化部や個人から優勝旗や賞状や盾などを納めていただきました。また、読書感想文コンクールでも多くの受賞者がでたり、県の英語弁論大会で上位入賞者も出ました。皆さんの多方面にわたる活躍に大きな喜びを感じています。

私は、授業や朝読書や放課後の自主学習会等で、多くの巨摩高校生がひたむきに一生懸命取り組んでいる姿を見ることが楽しみで、なるべく教室の横

や自習室、体育館やグラウンドなどに足を運ぶようにしています。さまざまな場面で皆さんの一生懸命頑張っている姿を見ますと感動し、胸が熱くなります。

さて、今年は寅年ですが、「虎は千里を往って千里をかえる」ということわざのように虎は目標を決めたらすぐに行動に移し、燃え尽きるような情熱で積極果敢にチャレンジしていきます。そして深い愛情と思いやりも持ち合わせています。

皆さんも、今年は新しい年を迎えたのを契機に新たな目標達成のために燃え尽きるような情熱を持って、積極果敢にトライするとともに、深い愛情と思いやりを持って行動しましょう。今年度は国民読書年でもあります。2月にはカナダのバンクーバーで冬季オリンピックも開催されます。皆さんにとってこの1年が健康で明るく幸多い年でありますよう願っております。

(平成22年1月6日記)



特集01 修学旅行

Okinawa
2年生最大の行事、修学旅行が12月9日から12日まで3泊4日で行われました。心配された新型インフルエンザでの欠席もなく、天候にも恵まれ沖縄の自然や味覚を楽しみ、歴史にも深く触れた4日間でした。



感じて、



学んで

僕らは修学旅行で何を学んできたのだろうか。もちろん沖縄での思い出は？と聞かれると真っ先に思い浮かぶのはクラス別行動や班別行動等の楽しい思い出だろうと思う。ただ、やはり忘れてはいけないのは平和についての学習である。日本人であるなら目を背けてはいけない。しっかりと肌で感じ目に焼き付けて、この悲惨で残酷な戦争という人類の過ちを後世に伝えていかなければならない。

平和を知る

秋山智志

平和折念公園の平和の礎には、たくさんの方の名前が刻まれていた。そこに国籍や軍人・民間人の区別が存在しな

い。沖縄戦で亡くなってしまった尊い命の数々が、そこには刻まれている。この人達一人ひとりに、僕らと同じ人生があつて、学校で勉強したりおいしいものを食べたたりスポーツをしたり、したいことを山ほどあつたらうに。そんなことを考えたとしても切なくなつた。行きたくもないのに戦場という一触即発の殺し合いの場に駆り出され、自分の人生もまともに歩めないままに死んでいく。こんな悲しいことがあつていいのだろうか。戦争は何も生み出さないし、すべてを奪い去つていく。この沖縄での平和学習を通して、平和というものがいかに大切で尊いものなのかを再確認できたのではないと思う。僕らの今の生活を見直して、人々にとって良い未来、良い日本、そして良い世界を築き上げ、平和に暮らしていける世の中になることを望んでいる。



思いっきりはじけた!!

